

本選出場された皆さん、おめでとうございます。演奏された感触はいかがでしたでしょうか？

徐々にコロナ以前の活気のある日常に近づいているように感じますが、まだまだマスクが必要な場面も多く、演奏も不自由な思いをしながら大変な面もあったと思いますが、皆さんが舞台上で演奏される姿は大変美しいものでした。

今回の印象としては、皆さんが一定の水準以上の演奏をしていたことで技術面での全体のレベルが上がったように感じました。しかしながら、作品の内容を表現するための音楽的な勤が的確に働いていた人は少なかったように感じました。コンクールという特性上、いかに目立つか、印象に残るインパクトを与えるかという、エンターテインメント的な発想については様々なアイデアを感じ取ることができましたが、作品の魅力を引き出すために大事な「音」に対する反応はざっくりしていたという感じがしました。グランドピアノには実に様々な音が眠っています。タッチやペダルによって色がガラリと変わります。そしてそのエネルギーの出所は、演奏者の作品に対する繊細なイメージと耳です。自分の音をよく聴いて、作品に合う音、表現を見つけ出すことに興味を持って練習に励んでいただけたらと思います。演奏会に足を運んで、プロ、アマチュア問わずいろんな人の生演奏を「聴く」ということも音の感覚を養うことにつながります。それぞれの音に対する美しい世界に興味を持って曲に取り組んでいくと、ピアノを弾くということについて、違った世界が見えてくると思いますので皆さんそれぞれで自分なりに考えてみてください。

ではまたお会いできることを楽しみにしています。

有 下 博